

留学体験談

3年1組35番 衣川広成

Keyword: 「留学」「アメリカ」「交換留学」「在学留学」「留学生生活」

1. はじめに

僕が初めて行った留学は小学校の夏休み中にニュージーランドへ短期留学したことです。そこから留学への興味が徐々に湧いてきました。その時はなんとなくとりあえず面白そうだったから行っただけでした。アメリカは多民族国家であり、地域ごとに異なる文化が大きな特徴です。今回のアメリカへの交換留学へ参加した理由は主に2つあります。1つ目は異文化との交流です。これについては他の留学に参加している方と同じ理由ですが、目的に設定しました。2つ目は英語力の向上のためです。自分でも英語はそこそこできると自負していますが、まだレベルを上げることは可能であることにこの国際高校に入った後に気づいて留学に行って自分の英語のレベルをもっとあげようと思い今回の留学に行きました。本稿では、その体験を振り返って、留学によって得られた学びと成長について述べていきたいと思います。

2. 序論

僕は高校に入学するまで留学に行きたいと思ったことが一度もありませんでした。特にそう思った理由はないですが、今振り返ると新しいことに挑戦することがめんどくさかっただけかもしれません。しかし、留学説明会で新たにやってみたいことが増えました。そうなった理由は、先輩による留学での経験を聞いて単純におもしろそうだったからです。今まで目的無しでなんとなくだけの志で国外へ留学していましたが、今回の交換留学はちゃんと異文化と交流し自分の視野を広げるための留学でしたので、色々学べたこともあり、ショックを受けたこともありました。また、将来的に英語も重要になってくると思うのでそのためには、今まで続けていた語学力だけでなく多様な人々との協調や自分の意見を伝えるノウハウをネイティブの人から学ぶ必要があると感じました。こうした理由から僕はアメリカでの留学を通して、言語面だけでなく、人間的にも成長することを目標に掲げました。

3. 本論

アメリカでの留学生活の時に、特に印象に残っているのは授業で行なわれた課外学習(フィールドトリップ)です。日本の学校とは違い、アメリカでは教室内での学習に加えて実際に外に出て学ぶ機会が多かったです。そのため、教科書では得られない情報ははっきり把握することができました。また、クラスメイト同士が自然に協力し合う雰囲気は課外学習時に発生しており、積極的に意見を交わす姿勢にも刺激を受けました。

もう一つ心に残っている出来事はホストファミリーと一緒に過ごした時間です。アメリカの家庭ではバーベキューをすることがよくあるので、知人や親戚を招いてまるで本当の家族のように温かい雰囲気で時間を過ごし、文化の違いを超えて繋がることができた大切な思い出だと思います。アメリカでは家族や友人との時間を大切にする文化が根付いており、その姿勢から人との関わり方の大切さを学びました。

また、アメリカの学校では行事や予定の説明が日本みたいにクラスルームや保護者用連絡網に伝達されることがないので最初は何が起きているのかわからず、体育館に行くはずでしたが、間違えて教室に入ってしまう違う授業を受けてしまうことが起きてしまいました。しかし、そうした環境の中で、自分から積極的に同じクラスの人に連絡したりすることの重要性をしっかりと学びました。困った時に自分から動くことで、人との信頼関係も生まれ、コミュニケーション力が少しずつ

身についていったように感じました。この経験を通して、わからないことをそのままにすることはなくなり、自分から行動する姿勢の大切さを実感しました。

4. 結論

アメリカでの留学生活は、劇的に自分を変えたわけではないかもしれませんが、そこで過ごした時間は確かに自分の中に小さな変化を生んだと思います。特にコミュニケーションの面では、以前よりも自分から話してみようと思えるようになったことを感じています。アメリカでの人々との関わりの中で自然と身についたものだと思います。

日本に戻ってからは、授業中が静かでルールや説明が丁寧な環境に改めて文化の違いが大きいと気づきました。そんな中でも、わからないことを自分から質問したり人と話すときは相手の目を見て考えを大事にする姿勢を心がけています。留学で学んだ相手を理解しようとする 것과自分から動く大切さはこれからの学校生活だけでなく、これから先の人生でも活かしていきたいと考えています。

5. おわりに

アメリカでの留学を通して、僕は自分に自信を持てるようになった気がします。最初は英語でのコミュニケーションが思ったよりもできず、不安しかなかったですが、恐れず少しずつ自分の考えを周りに伝えていったら自然と周りに馴染めるようになりました。それに伴って新しい世界が広がることを実感し、最終的にはこの経験を通して「待つ」よりも「動く」ことの大切さを学びました。